



arts in hearts
TOYOTA

第 1643 回

トヨタコミュニティコンサート
TOYOTA COMMUNITY CONCERT

第

Yamanashi Symphony Orchestra

山梨交響楽団

Wenn mein Schatz Hochzeit macht,
Fröhliche Hochzeit macht,
Hab' ich meinen traurigen Tag!
Geh' ich in mein Kämmerlein,
Dunkles Kämmerlein,
Weine, wein' um meinen Schatz,
Um meinen lieben Schatz!
Nehmen dich! Nimm dich! Nimm dich!
Verdorre nicht! Verdorre nicht!
Vöglein süß! Vöglein süß!
Du singst auf grünen Zweigen!
Ach, wie ist die Welt so schön! Ziküth! Ziküth! Singet nicht! Blühet nicht! Lenz ist ja vorbei! Lenz ist ja vorbei! Alles Singen ist nun aus!

Lieder eines fahrenden Gesellen
G. マーラー 作曲

Der ich schlafe, wenn ich schlaf' geh',
Den ich an mein Leide!
An mein Leide!
Gut, gut morgen übers Feld,
Tief auf den Gräsern hing;
Späht zu mir der lust'ge Fink:
"El! El! Gelt?
Guten Morgen! El gelt?
Du! Wird's nicht eine schöne Welt?
Zink! Zink!
Schön und flink!
Wie mir doch die Welt gefällt!"

Auch die Glocken 'n am Feld
Hat mir lustig, 'n Ding,
Mit den Glöckchen, klinge, kling,
Ihren Morgengruß geschellt:
"Wird's nicht eine schöne Welt?
Kling, kling! 'n Ding!
Wie mir doch die Welt gefällt! Heia!"

Und da fing ich 'n Menschen
Gleich die Welt zu finkeln an;
Alles Ton und Farbe gewarnt
Im Sonnenschein
Blum' und Vögel groß und Klein!
"Guten Tag,
Ist's nicht eine schöne Welt?
El du, gelt? 'n Ding!"

Nun fängt auch mein Glück wohl an?
Nein, nein, das ich mein!

さすらう若人の歌

Symphony No. 5

A. ブルクナール 作曲
交響曲第

指揮／
中田 延亮

ゲスト・コンサートマスター／
永峰 高志
(国立音楽大学教授・元NHK交響楽団首席奏者)

2018.
6.24 (日)

開場／13:00 開演／14:00
13:30～指揮者 中田 延亮氏によるプレトーク
コラニー文化ホール 大ホール
(山梨県立県民文化ホール)

Joseph Anton Bruckner

番

回定期演奏会

45th Regular Concert

一般／1,500円 学生(高校生以下)／1,000円

主催 山梨交響楽団

共催 アドブレーン・共立・NTTファシリティーズ共同事業体

協賛 山梨県オールトヨタ・トヨタ自動車株式会社

協力 公益社団法人日本アマチュアオーケストラ連盟

後援 山梨県、甲府市、山梨日日新聞社、山梨放送、
テレビ山梨、エフエム富士、エフエム甲府、
朝日新聞甲府総局、産経新聞甲府支局、
毎日新聞甲府支局、読売新聞甲府支局

無料託児サービスのご案内

NPO法人 Happy Space ゆうゆうゆう



[申込連絡先]

E-mail ichinomiya@yuyuyu.org FAX 0553-47-1345

ご予約は氏名・連絡先などを記入の上、メールまたはFAXでお申し込みください。折り返し担当より連絡いたします。●本公演では、お母様お父様方にゆったりと安心して演奏をお聴きいただけるよう、コラニー文化ホール控室にて無料託児サービスを行います(要事前予約)。●本サービスは、NPO法人 Happy Space ゆうゆうゆうに委託して実施します。●託児は0歳児から可能です。●託児時間は当日13:00～16:30までとなります。●ご予約締め切り6月18日



本コンサートの詳しい情報は、上記のQRコードでご確認ください。

※インターネットでもご購入いただけます。

e+ (イープラス) [http://eplus.jp/\(PC・携帯共通\)](http://eplus.jp/(PC・携帯共通))

問い合わせ先 山梨交響楽団事務局／担当：小川 TEL.080-9988-5747

トヨタは“いい町・いい社会”づくりをめざし、アマチュアオーケストラ活動を1981年から応援しています。トヨタコミュニティコンサートの情報はインターネットでより詳しくご覧いただけます。www.toyota.co.jp/tcc/

山梨交響楽団 第45回定期演奏会

指揮者/ 中田 延亮 Conductor Nobuaki Nakata 巨匠ジャン・フルネ最後の愛弟子の一人 2017年ブルードナウ国際オペラ指揮者コンクール第2位



©深谷義宣 aura.Y2

京都生まれ。筑波大学医学専門学群在学中に桐朋学園ソリスト・ディプロマコースに入学しコントラバスを専攻する一方、指揮も学び、在学中より指揮活動を開始。その後2005年より本拠を欧州に移し、ウィーン市音楽院古楽科などで更に学ぶ。また巨匠ジャン・フルネ氏に認められ最晩年の生徒として師事し大きな薫陶を受ける。その他、上杉隆治、広上淳一、湯浅勇治、ミチャエル・ディトリヒ、イサーク・カラブチェフスキー、ニールス・ムースの各氏にも教えを受けている。

07年、ブルガリアのスタラザゴラ歌劇場でヨーロッパデビューを果たし、ドナウ交響楽団主催の国際指揮者コンクールにて第1位を受賞。その後はラトヴィア国立交響楽団とのエストニアツアー、ルーマニアのブラショフ歌劇場など各国への客演を続けている。08年にはブラジルにおける日本人移民100周年を記念して皇太子殿下ご臨席の下、リオデジャネイロの伝統ある市立劇場で開催された「日伯交流音楽会」に招聘され、ベトロボラス交響楽団を指揮した。14年、群馬県で群馬バロックオー

ケストラを創設、後期バロックをレパートリーの軸にして活動を続けている。現代作品の演奏にも積極的に取り組み、アンドリス・ゼニティス（ラトヴィア）、ガブリエル・ペニード（ブラジル）など各国の若い世代の作曲家から絶大な信頼を寄せられている。

これまでに上記各楽団に加えてボルト・アレグレ交響楽団（ブラジル）、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィル、群馬交響楽団、九州交響楽団、神戸市室内合奏団などに客演し、08-10年はスタラザゴラ歌劇場首席客演指揮者を務めた。2017年には、ブルガリア・ルセで行われた世界屈指の規模を誇る「ブルー・ドナウ国際オペラ指揮者コンクール」で第2位を受賞。今後ブルガリア各地の歌劇場とセルビア・ベオグラード国立歌劇場への客演が決まっている。

現在はスペイン・バレンシアに拠点を置き、日本と欧州を往来しながら桐朋学園大学で後進の指導にもあたると、国際的な活動を繰り返している。

ゲスト・コンサートマスター/ 永峰 高志 Guest Concertmaster Takashi Nagamine 国立音楽大学教授・元NHK交響楽団首席奏者



Photo: Naoko Nagasawa

1980年東京藝術大学卒業。同年NHK交響楽団に入団。第1ヴァイオリン次席奏者、第2ヴァイオリン首席奏者として活躍する。2012年NHK交響楽団より同団への功績が認められ第32回有馬賞を授与される。2015年同団を退団する。

現在、オーケストラとの共演等ソロヴァイオリニストとして活躍している。ゲストコンサートマスターとしても、新日本フィル、シティフィル、仙台フィル、山形交響楽団、新星日本交響楽団（現東京フィル）などのオーケストラに出演し好評を得ている。

また指揮者としては、1995年、名古屋白川ホールに於いて、田中カレン作曲「ウェーブ・メカニズム」「キャニオン（世界初演）」でN響メンバーによるオーケストラを指揮しデビュー。その後も同オーケストラで、プロコフィエフ作曲「ピーターと狼」、モーツァルト作曲 交響曲第40番、ベートーヴェン作曲 交響曲第5番「運命」等の指揮をし、聴衆、N響メンバー双方から絶賛を浴びる。

現在は仙台フィル、アンサンブル神戸、オンディヌ室内管弦楽団、FAF管弦楽団等を指揮している。2017年1月仙台フィル&小曽根真氏との共演で演奏されたガーシュイン作曲「ラブソニー・イン・ブルー」は非常に高い評価を得た。

近年はオーケストラの合奏指導にも力を注ぎ、その指導を受けたオーケストラのアンサンブルは劇的に改善されると定評がある。

国立音楽大学教授、洗足学園音楽大学客員教授、東京藝術大学非常勤講師として後進の指導にも当たる。その指導はヴァイオリン奏法だけでなくとどまらず、オーケストラスタディ、オーケストラ奏法にまで及び、門下からはミュンヘンフィル、NHK交響楽団、東京都交響楽団、新日本フィルをはじめ国内外のオーケストラのオーディションに数多くの合格者を輩出している。

2010年より岩手県久慈市文化会館（アンバーホール）の芸術監督も務め、数々の公演をプロデュースし成功を収めている。

バリトン/ 河野 克典 Bariton Katsunori Kono



東京藝術大学大学院修了後、西独給費留学生としてミュンヘン音楽大学で学び、その後ウィーン国立歌劇場の研究員となる。ジュネーヴ、ヘルトゲンボッシュ国際声楽コンクールなどで入賞。欧米でのリサイタルはもとよりオペラ、オーケストラ、宗教曲の公演、日本ではNHK交響楽団定期公演、東京フィル、日本フィル、新日本フィル、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、サイトウ・キネン・オーケストラの公演にソリストとして出演。小澤征爾、大野和士、K・マズア、G・ベルティーニ、E・インバルといった

著名指揮者と共演。オペラではウィーンを始めフランス、イタリア、新国立劇場、藤原歌劇団公演において好演。リサイタル「ヴォルフの世界」で芸術祭優秀賞を受賞。「白鳥の歌」「水車屋の娘」「冬の旅」「詩人の恋」、日本歌曲集「この道～ふるさとの歌」等のCDをリリース。

現在、横浜国立大学、東京藝術大学等で後進の指導にあたっている。山口県「ふるさと大使」。

山梨交響楽団 Yamaguchi Symphony Orchestra

1973（昭和48）年10月に、当時山梨県内で活動していたプリモ室内合奏団が母体となって、山梨県で初のアマチュアオーケストラとして結成された。

団員は約70名、公務員・会社員・自営業・学生・主婦など、さまざまな職業と幅広い年齢層から構成され、毎週金曜日、コラーニ文化ホール等にて練習を行っている。

年間の主な演奏活動としては、定期演奏会、ニューイヤーコンサート、県内の小中学校などを巡回する山梨芸術劇場、9月定例県議会に先立つ県議会議場コンサートがある。また、毎年12月開催の山梨県民第九演奏会には、団を挙げて参加している。

これまでに、(故)三鬼日雄、(故)堤俊作、田中一嘉、藤原義章、高橋俊之、桜井優徳、江上孝則、カルロス・シュビーラー、中田延亮、北原幸男、前田淳、クリスティアン・シュルツ、茂木大輔の各氏の指揮のもとで定期演奏会を開催するほか、(故)芥川也寸志、(故)石丸寛、三石精一の各氏をはじめ、日本を代表する指揮者との共演を実現し、全国にも通用するハイレベルなオーケストラを目指すべくその実力を高めてきた。2002（平成14）年10月には、元ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の第一コンサートマスターであるレオン・シュビーラー氏をコンサートマスター兼指揮者に迎えて特別演奏会を開催し好評を博した。また、2007（平成19）年8月には、佐渡裕氏の指揮で富士山河口湖音楽祭「真夏の第九演奏会」に500人の合唱とともに出演した。

2011（平成23）年3月に発生した東日本大震災への復興支援活動として、同年7月にチャリティコンサートを実施し、10月には宮城県石巻市へ訪問コンサートを行った。2013（平成25）年11月には「第28回富士の国やまなし国文祭」の「オーケストラの祭典」において、運営面、演奏面で中心的な役割を果たし、成功に大きく貢献した。

公益社団法人日本アマチュアオーケストラ連盟加盟団体の一員として、同連盟主催の「全国アマチュアオーケストラフェスティバル」に積極的に参加しながら、他県のオーケストラとも交流を深めている。2014（平成26）年8月には「第42回全国アマチュアオーケストラフェスティバル甲府大会」を高円宮久子妃殿下のご臨席の下、全国から400人以上の参加者を得て開催し、主管オーケストラとして大会の成功に大きく貢献した。

この他、楽団の弦楽器奏者を中心とした梨響チェンバーオーケストラをはじめ、いくつかの室内楽の演奏グループを団内で結成して、県内行事への参加や、アンサンブルを楽しむとともに、技術の向上につとめている。

団の運営は、団員個々から集める団費と、県内有力企業及び個人の篤志家の皆様からの物心両面の賛助により、文字どおり「県民による県民のためのオーケストラ」として活動が続いている。

1998（平成10）年には、それまでの芸術振興と長年の地道な活動に対して、山梨県より、音楽団体としては初の県政功績者表彰を受賞している。